

2017年8月1日

J R日高線を守る会
J R問題を考える苫小牧の会

JR日高線の復旧 日高門別駅まで

即時運行再開させましょう！



《運行休止から2年半》

みなさん！ J R日高線が高波被害により運行休止してから2年半。しかし、J Rは一切の復旧工事をやっていません。

《復旧事業費出ているにも工事着手せず》

みなさん！ 国交省は16年11月、台風により大きな被害を受けたJ R北海道に対して線路や運行設備の被害に対する復旧費用として8億6000万円を補助することを決めております。これによってJ Rは既に復旧工事に着手していなければならぬのです。ほかに落石、雪崩等対策費として国は手当てをしています。

《国交省はJ R北海道に強く指導するべき》

みなさん！ J R北海道が鉄道軌道整備法に基づく日高線の災害復旧工事を拒んでいるのは国の災害復旧の仕組みを変質させるものです。国交省はJ R北海道に対して災害復旧に入るよう強く指導するべきです。

《日高門別駅までは被災してない》

みなさん！ 住民の多くから、「日高門別駅までは被災してないのになぜ、列車を止めているのか」「門別まで、すぐに列車を走らせてほしい」との声があがっています。通学する高校生、そして進学間近の生徒を抱える家庭などの関係者からも、定期的に苫小牧などに通院するお年寄りからも「一日も早い運行再開を」の声が切実です。復旧工事を行わなくても運行できる鶴川駅〜日高門別駅間を休止している理由はありません。直ちに運行再開をすべきです。

《日高門別駅までの運行即時再開を》

みなさん！ 三輪日高町長も沿線各町首長もこの要望を支持しております。各地でJ R・鉄道問題学習講演会で講演した学者・研究者からも「日高門別駅までの運行はすぐ行うべきだ」との度重なる発言がありました。三重県のJ R名松線は、住民の圧倒的な数の署名運動や、あらゆる形の宣伝・運動によって知事、自治体首長、国会議員を動かし運行休止から6年半以上たって運行再開を実現しました。私たちも未来の私たちの町と地域の発展と存続を考えるなら、地域衰退をもたらす鉄路廃線を容認することはできません。

今こそ住民の心と力を合わせて被災してない「日高門別駅までの即時運行再開」を実現させようではありませんか。



日高門別駅

運行再開要求署名運動にご協力
ください。 連絡先・090 5981 7418